

[GRAPEVINE]

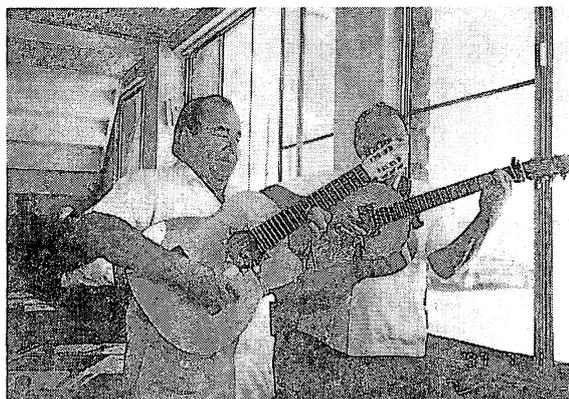
第48回 ASEV 年次大会参加記9
Tijuana (メキシコ ティファナ) ツアー

(株) 三和酒類 中尾 浩二

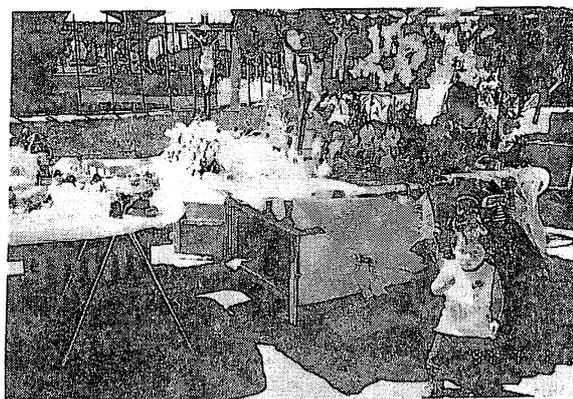
メンバーは中央葡萄酒 赤松氏と日系人のガイド氏、私の総勢3名である。ツアーの所用時間は8時間\$156(昼食代込)である。サンディエゴは西に海、東に海が入り込んだ天然の良港で軍港として知られているが、その入り江の北側のダウンタウンから南へ橋を渡り西岸の砂州を越えて、メキシコ国境のティファナ、南下してロザリトへというコースである。まず対岸に渡りコルナドホテルを見学する。ビクトリア様式を保った本館は映画『オズの魔法使い・お熱いのはお好き』のロケに使用されたい。こういうホテルに付き物のお化けも出るらしい。早々に後にした。そのまま砂州添いに南下する。途中ゾウのおり(レーダー基地)もある。30分も走っただろうか渋滞になり国境の検問がある。ドライバー兼ガイド氏は巧みなハンドルさばきで割り込んでゆく。

入国後ドライブスルーで自動車保険に加入する(\$15.75)。ティファナを通り過ぎ右側に海を見ながらロザリトに向かう。海辺は断崖になっており、塀を巡らした住宅が続くがこれはアメリカ人の住まいで税金の少ないメキシコに住みアメリカで働くのだそうだ。途中岸壁の上のレストランで一休みする。ビールにライムを絞って飲むといくらでもいける。昼食をロザリトの海が良く見えるレストランでとった。まずは透明でピュアなテキーラである。香りはやや癖があるが、味はさらりとスムーズである。つまみはトルティーヤ(薄揚げパン)、ソースはメヒカーナ(トマトベースで辛い)。ソースが良く冷えておりうまい。ロブスターのポイルにうずら豆の煮込み、辛いスープ。一杯飲み終えたところで三人連れのマリアッチがやって来た(写真1)。『コンドルは飛んで行く』をリクエストする。音量豊かでない歌であった。次は『ベサメムーチョ』、なんとももの悲しい歌である。

テキーラ\$1.81、ロブスター\$17.50、演奏1曲\$5也。ティファナに向かう。メキシコで4番目に大きな町で、アメリカ人の観光客で賑わっている。メインストリートを歩いた(写真2)。シマウマ模様に塗られた記念撮影用のロバがよく目に付く。法律でショーから締め出されたそうだ。細工ものを売る子供と女性、男たちは木陰から客引きをしている。帰りは渋滞もなく40分程度でダウンタウンのホテルに着いた。お供をさせていただいた赤松氏にお礼を申し上げたい。



(写真1)



(写真2)